来賓挨拶

厚生労働省大臣官房厚生科学課長

佐原 康之

(公務によりご欠席のため、事務局長による代読)

第23回研究助成発表・贈呈式の開催にあたり、厚生労働省を代表して、一言ご挨拶を 申し上げます。

まずは、本日、助成を受けられる皆さまには、心からお祝いを申し上げます。

ヘルスリサーチフォーラムは今回で23回目ということで、これも、運営にあたってこられたファイザーヘルスリサーチ振興財団の皆さまがたのご努力とともに、選考委員の 先生方や関係してこられた方々のご支援のたまものであり、感謝と敬意を表したいと思います。

本フォーラムが始まった約20年前というと、国では新ゴールドプランとエンゼルプランを策定したときでもあり、既に少子高齢化が大きな問題となっていました。その頃と比べ、医療の技術、システムは目覚ましい発展をとげ、平均寿命もさらに延びて、そのこと自体は喜ばしいことではありますが、少子高齢化が進むことにより、労働力人口の減少による経済への影響、慢性疾患による受療、疾病の罹患率の増加、介護を必要とする方の増加など、難しい問題が生じています。国としても、健康寿命を延伸するとともに、QOLを向上させることが大きな課題となっています。そのような中で、ヘルスリサーチという領域は、医学だけでなくさまざまな領域の学問を国民のQOLの向上につなげていくものであり、ぜひとも発展させていただき、保健、医療、福祉に貢献していただきたいと考えています。

本年度、23回目の助成をお受けになられた皆さま方が、ますます実りのある研究を実施し、今後のヘルスリサーチを支えてくださるものと確信しております。さらに、本助成、フォーラムも30年、40年と続けていただき、新たな研究成果を生み出し続けていただけることを期待しております。

最後になりましたが、ファイザーヘルスリサーチ振興財団のますますのご発展と、本 日ご参加された皆さまのご活躍を心から祈念いたしまして、私からのお祝いの言葉とさ せていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。